

関数グラフアート全国コンテストの報告

福井高専 数学科 長水 壽寛

1. 参加校及び応募作品数（順不同）

第1回（2004年）：一関高専（26）・茨木高専（1）・五戸高校（5）・清風高校（7）・石川高専（5）・東京女子大（23）・函館高専（3）・福井高専（6） 総数 76

最優秀賞3作品、2位6作品、3位4作品、佳作15作品

第2回（2005年）：一関高専（12/155）・五戸高校(7/40)・清風高校（8/70）・石川高専（10/28）・東京女子大（7/84）・甲南高校(18)・福井高専(34) 総数 96

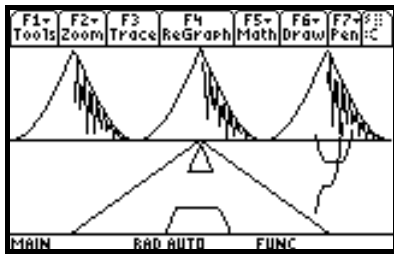
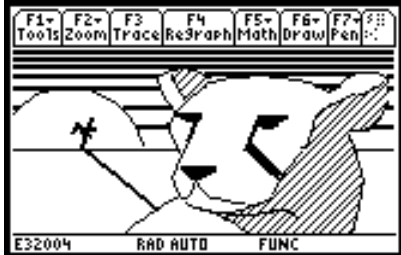
最優秀賞2作品、特別賞3作品、優秀賞11作品、佳作11作品

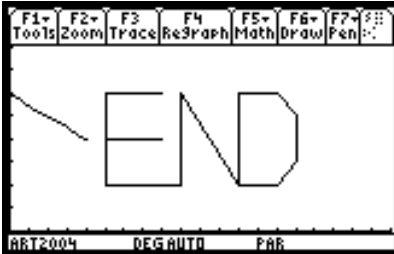
第3回（2006年）：千里国際学園中等部高等部(1/1)・水戸第三高校(3/40)・備前緑陽高校(2)・練馬区立光が丘第一中学校(15/22)・東京女子大(7/73)・五戸高校(3/35)・清風高校(6/90)・函館高専(4/43)・石川高専(5)・甲南高校(7)・愛知教育大学附属高校(3)・一関高専(12/130)・茨木高専(1)・福井高専(22) 総数 91

最優秀賞1作品、優秀賞6作品、佳作19作品

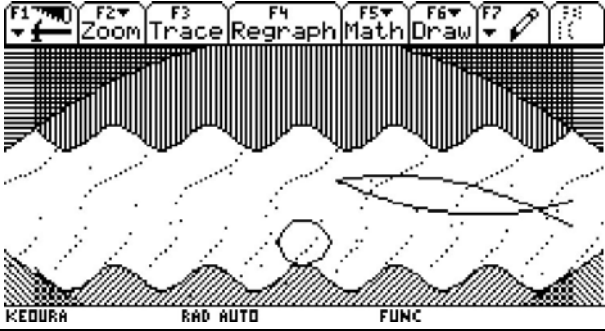
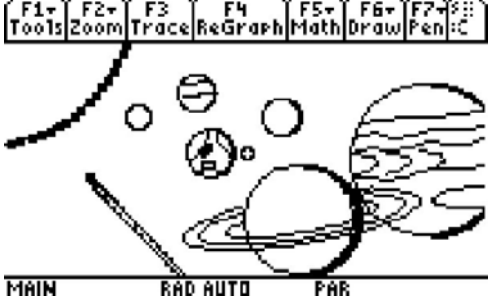
2. これまでの優秀作品

2004年 最優秀作品（3作品）

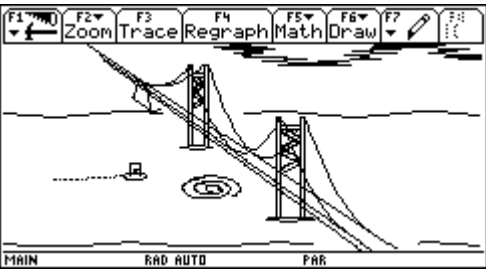
制限部門	福島哲也（一年）	自由部門	河上亮大（3年）
山江の道	石川高専	Cheetah	福井高専
			

動画	壺内将之（1年）
手持ち花火	清風高校
	

2005年 最優秀作品（2作品）

部門	作品名	作者	作品
制限部門 (関数10個)	真珠	捺本 悠嗣 清風中学 (3年)	
自由部門	太陽系	八木政樹 石川高専 (2年)	

2006年 最優秀作品（1作品）

出品部門	<input type="checkbox"/> 制限部門（中学） <input type="checkbox"/> 制限部門（高校以上） <input checked="" type="checkbox"/> 自由部門 <input type="checkbox"/> 動画部門
作品タイトル	鳴門海峡
作品	
氏名	清風高等学校 1年 津村 優磨

平成 19 年 6 月 25 日

「第 4 回関数グラフアート全国コンテスト」実施要綱
関数グラフアート全国コンテスト事務局

グラフ電卓の画面上に様々な関数を用いて絵を描き、絵の美しさと巧みな関数の使い方を競いあう。

【作品部門】

(1) 制限部門 $y=f(x)$ 型の関数を 10 個以内用いて描いた作品（媒介変数型、極座標型を用いない作品）

(2) 自由部門 関数の種類や個数には特に制限を設けなくて、自由に使って描いた作品

(注意 1) 動画的な作品は審査の対象外とする。（完成した静止画のみでの審査とする。）

(注意 2) キャラクター、ロゴマーク等は審査の対象外とする。

【応募資格】 特になし

【応募方法】：

(1) クラス応募の場合

各クラス 3 点以内の作品を選んで事務局に応募する。選考は各クラスに任せる。制限部門、自由部門各 3 点以内とする。

(2) 個人応募の場合

直接大会事務局に応募する。制限部門、自由部門あわせて 2 点以内とする。(1)で選ばれた作品は、個人応募からは除外する。

(3) 一校あたりの作品が 15 点を超える場合は、各校にて絞込みをするのが望ましい。選考は各校担当者に任せる。

【応募形式】

1 作品につき、以下をすべて揃える。揃っていない場合は、審査の対象外となることがある。

① GDB ファイル

② PIC ファイル

③ 作品名、ファイル名、応募部門、作者名、所属（学校名など）と連絡先

④ 応募作品には、作者による「工夫した点」「アピールしたい点」「制作しての感想」のコメントをつける。

以上を e-mail に添付または CD などに保存して、運営委員会事務局まで送付。（クラス応募の場合は担当者が各クラスの応募総数、選考基準とともに送付する）

また、学校での応募の場合、PIC ファイルの一覧（完成作品と作品名の一覧）があるとよい。

【審査】

(1) 事務局による 1 次審査

部門ごとに佳作・優秀作品を選ぶ。審査は作品の芸術性・数式の用い方の巧みさ・全体のアイデアの 3 つを観点として行う。参加校から少なくとも 1 点の佳作作品を選ぶ。

(2) 審査委員会による 2 次審査

芸術、数学、教育の専門家が優秀作品の中から、最優秀作品を選ぶ。

【表彰】

最優秀作品と優秀作品の作者を表彰する。選ばれた作品はインターネットその他各種出版物において世界に公表し、また、副賞を贈る。

【著作権】 入賞作品の著作権は作者に帰属するものとするが、使用に関しては運営委員会の判断で認めることがある。

【運営委員会】 (第3回関数グラフアート全国コンテスト運営委員会)

運営委員は、 渡辺信 (東海大学)
杉山真澄 (東京女子大)
佐伯昭彦 (金沢高専)
中澤房紀 (ナオコ)
井之上和代 (福井高専)
坪川武弘 (福井高専) の6名があたる。

運営委員会事務局を福井高専数学科が担当する。

【実行委員長】 (第4回関数グラフアート全国コンテスト実行委員長)

実行委員長は、一松信があたる。

【審査委員】

審査委員は、運営委員会、実行委員長、特別審査委員であたる。特別審査委員は、根岸秀孝氏に委嘱する。

【応募締め切り】 2007年10月31日

(ただし、冬休みの課題にするという場合は、相談に応じる。)

【応募先】 第4回関数グラフアート全国コンテスト運営委員会事務局

916-8507 福井県鯖江市下司町 福井工業高等専門学校 数学科

math@fukui-nct.ac.jp

担当 坪川武弘 tubokawa@fukui-nct.ac.jp

担当 井之上和代 k-inoue@fukui-nct.ac.jp

電話 0778-62-8244 (福井高専内坪川研究室直通)